



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
—思いやり・やる気・たくましさ—

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 23 号
令和 2年 1月 9日

今年もよろしくお願いたします

校長 古市 直彦

令和2年の学校生活が始まりました。

1月6日に行った冬休み明けの全校集会では、生徒に次のような話をしました。

今日から令和元年度の後期・後半戦の学校生活が始まりますが、皆さんは、どんなお正月を過ごしたでしょうか。3年生は、ほとんどお正月気分なんて味わえなかった…という人も多いかもしれませんね。私のお正月というと、例年、何となくテレビで箱根駅伝を見ている…ということが多いです。今年は、用事があって、往路しか見れなかったのですが、その中で、走り終わったある選手がテレビのインタビューに答えていた内容が印象的でした。

「10年間、このたった1時間のために努力してきました。2、3年生のときはチームで11番目で悔しい思いをしてきたので、いいタイムが出てよかったです。」 …というものです。

総合優勝したチームの4年生なんですが、昨年も、一昨年も、本番では10人しか走れない選手に対して11番目の控えの存在。つまり、あと一歩のところまで箱根を走ることができなかつた人なんです。それでも、気持ちを腐らせずに努力を重ね、4年生で最初で最後の箱根を経験。そして、区間新記録という素晴らしい成果を残した人だったんです。

1時間のために、10年間努力してきた…。カッコいいですね。感動しました。

さて、冬休みに入る前の集会で、私は「目標をもって欲しい」という話をしました。それぞれの人が、それぞれの目標を立ててくれたと思います。もし、まだの人がいたら、今日、立ててもいいですよ。今日は、新年の学校生活が始まる日、つまり学校の元旦のようなものですから、まだ遅くありません。

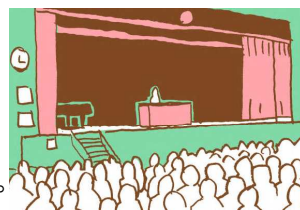
次は、その目標をクリアするために、どんな努力をする必要があるか考え、計画的に取り組みしましょう。計画はできるだけ、具体的なものがいいですね。

そして、実践です。目標によっては、10年間…とはいかないまでも、ある程度継続して努力していかなければならないかもしれません。あきらめずに、がんばって欲しいです。



生徒の皆さん一人一人の目標が達成できるよう、職員一同、全力でサポートしていきたいと思っています。今年もよろしくお願いたします。

また、冬休み前の全校集会では、各学年代表の生徒が一年を振り返り、新年に向けての決意をスピーチしてもらう機会がありました。それぞれのスピーチの中から、令和2年の目標に繋がりそうな部分を抜粋して紹介してみます。



1年生の皆さんが一人一人意識し、積極的に発言や行動がとれるようになると、もっと活気のあふれる学年になり、もう一段階成長できると思います。

冬休みが終わると、2年生の準備を本格的にしていきます。来年入学してくる1年生の見本となれるように、「おみそはこれあき」の「おもいやり」と「あいさつ」にもう一度力を入れて生活していきましょう。

学年目標である「一致暖結」を達成できるように、これからもがんばっていきましょう。

1年生代表 Nさん(1-3)

後期になり、部活動や委員会では3年生がいなくなり、自分たちの学年が学校を引っ張っていくという自覚が芽生えました。でも、日々、3年生の存在の大きさを痛感しました。

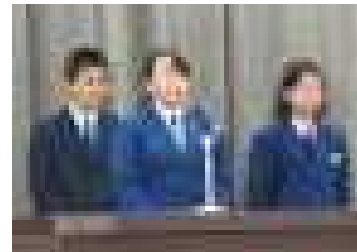
そして今までの取り組みが全て出る自然教室では、全員が時間を意識し先読みをして活動をスムーズに行うことができました。伝説の学年に向けた2歩目が踏み出せたと思います。

2020年は、私達が最高学年になる年です。学校の顔にふさわしい学年になるよう、また、伝説の学年の最終章に向け、今まで先輩が磨いてきたものを更に輝かせられるよう、がんばっていこうと思います。

2年生代表 Kくん (2-2)

3年生は今、受験に向けて自分を追い込む時期になっています。それぞれの生徒が自分なりに工夫をしてがんばっています。私はノートの取り方を工夫して学習に取り組んでいます。昼休みに生徒同士で問題を出し合ったり、授業後にわからないところを質問に行ったりする生徒もいます。

ひとに優しく、自分に厳しく、相手を尊重し、互いに高め合い、3年生は残りの日々を成長し続けていきます。



3年生代表 Oさん (3-4)

新年の学校生活が始まり、数日間が経ちましたが、校内では、落ち着いて学習や生活、部活動等に取り組む姿を見ることができています。令和2年、若松中は、好調なスタートをきることができたようです。

演劇部 冬季の千葉市発表会で金賞受賞 関東大会へ

12月27日・28日、南部青少年センターで行われた千葉市中学校演劇部冬季発表会・冬季優秀校発表会に、本校の演劇部が参加し、「ずっとそばにいるよ (斉藤俊雄氏作)」という演目を発表しました。結果は、見事、金賞を受賞しました。本校演劇部は、数年前に銀賞をいただいたことはありますが、今回の金賞受賞は本当に素晴らしい快挙です。個人賞を受賞した以下の4名の熱演はもちろんですが、どのような劇にするかを部員間でしっかりと話し合いながら創りあげた点が評価されました。

演劇部は、千葉市の唯一の代表校として、3月26日~27日に神奈川県立青少年センターで開催される、「関東中学校演劇発表会」に参加することになりました。きっと、そこでも素晴らしい演技で魅せてくれることでしょう。

千葉市中学校演劇部 冬季発表会 (12月27日)

【団体】 優秀賞、照明効果賞

【個人】 舞台監督賞 Fさん (2-5)

千葉市中学校演劇部 冬季優秀校発表会 (12月28日)

【団体】 金賞

【個人】 優秀演技者賞 Kくん (2-3)

〃 Sさん (2-3)

熱演賞 Nさん (2-5)



このたび、千葉市の中学校演劇部冬季優秀校発表会で、金賞を受賞することができました。演劇部が一丸となってひとつの舞台を創りあげられた結果だと思えます。とても、嬉しいです。ありがとうございました。関東大会に向けて、これからも頑張ります。応援よろしくお願ひします。

演劇部部長 Fさん (2-5)

校報「若松中だより 第23号」をお届けします。ご意見やご感想を広く募集しております。お気づきの点等ございましたら、下記までご連絡ください。

(千葉市立若松中学校 校長：古市 直彦 ☎043-232-6125)